

蓮沼中鏡

ものの数え方

ウサギは一羽二羽なんです。

ウサギの数の数え方は、「一羽、二羽」ともいうことを知っていますか。私が、中学校時代に国語の先生から教わりました。昔は四足の獣の肉は、宗教上の理由で食べなかったそうです。しかし、人間はいろいろなものを食べます。野山を駆けるウサギも捕えて食べました。ウサギは、四足です。そこであの長い耳を鳥の羽に見立てて、ウサギは鳥の仲間だとしたのです。だから、「一羽、二羽」と数えると教わりました。昔の事なので、記憶も確かではありませんし、正しい説なのかその真偽は分かりません。もちろん、「一匹、二匹」と数えてもいいそうです。

日本語でものを数えるときに使う「枚」「本」「杯」などを助数詞と言います。この助数詞にはきまりがあり、多岐にわたっています。

教室にあるものを数えてみます。紙は「一枚、二枚」ですが、ノートのようにとじ込んだものは「一冊」。鉛筆は「一本」ですが色鉛筆は「一本」とも「一色」とも言いますし、12本そろると「一ダース」となります。「一本、二本」と数えるものは、他にシャープペンシル、サインペン、ものさし、リコーダー、蛍光灯、給食のフォークやスプーンで、棒状のものがあります。ところが、箸は「一本、二本」ではなくて二本そろって「一膳」です。はがきは「一枚」、手紙は「一通」。俳句は「一句」ですが短歌は「一首」です。

バナナは「一本」と数えますが、房に付いている状態なら「一房」、ブドウは「一房」とも「一粒」とも数えます。ミカン「一個、二個」と数えますが、店先で売られている状態は「一山」だったり「一袋」だったりと同じ物でも、形や状態によって数え方は変わります。

野に咲いている花と飾った花とでは数え方が違います。風に揺れるコスモスは「一本、二本」、菊花展に出品された菊は「一輪」、小さな花びらは「一片」、花束は「一束」、鉢植えは「一鉢」、花瓶にさすと「一刺し」です。

イヌやネコは「匹」、ゾウやライオンは「頭」、鳥は「羽」、トンボやセミは「匹」ですが、蝶は「匹」とも「羽」とも、観察をするときは「頭」とも数えるのです。

魚は通常「匹」や「尾」ですが、サンマのような細長い魚は「本」、ヒラメやカレイは「枚」、イカは「杯」とも数えます。

物の数え方は、とても複雑であり迷うことが度々ありますが、それが日本語の豊かさの一つではないかと思うのです。

しかし、こんな会話が行われている現状があります。「妹とは一コちがいがいい」「ニコ上の先輩に聞いています」などです。さらに「家具売り場はどこですか」とデパートの店員さんに尋ねると「ニコ上の七階です」などと返ってきます。正しくは、「妹とはひとつちがいがいい」「妹とは一歳ちがいがいい」「二歳上の先輩」「二学年上の先輩」「一階上」「一つ上の階」などではありませんか。人でも物でも何でも「コ」と数えるのは、“幼児ことば”ではないかと思うのです。中学生や社会人になってまで、「コ」で済ますというのは、どこかおかしいと思うのです。

情報化や科学技術がいくら進歩した時代だとしても、ものの数え方をしっかり身につけたいものです。ものの数え方は、理屈として覚えるより、耳で聞いて口に出してようやく身につくものです。子どもたちを取り巻く大人から正しい数え方を身につけ、中学生もその環境の中で生活してほしいと思っています。

生徒の活躍

東京都立学校美術展覧会出品…美術【孔版】(3A・内山 3C・上遠野 書写【書初め】(2B・佐々木 2/13~18

東京都教育委員会防災標語コンクール…優秀作品「人々の命を守る 助け合い」(1C・米山 2/9

2年 社会科見学 鎌倉 2月9日

2学年担当 坂西 勉

鎌倉社会科見学の事前学習では、鎌倉だけでなく修学旅行にも結びつくように、歴史的な景観に興味をもてるように、生徒一人ずつ寺社仏閣を担当し、調べ学習を行いました。また、見学地で何を注目して見てくるかを決めてしおりに書くことで、各生徒が問題意識を感じながら社会科見学当日を迎えられるように学習してきました。その成果もあって、「門をくぐった途端厳かな雰囲気には圧倒された。」「静かなところで太陽も出ていたのでとても気持ち良かったです。」などの感想がありました。生徒は、行ってみたいと感じとれない鎌倉ならではの雰囲気を味わい、満足感も得たのではないのでしょうか。

その一方で不要物をもって来た、時間を守れなかった、電車でのマナーが悪かったなど、2年生の課題も見えてきました。班員と協力して班活動を行うために何が大事か、見学地ならではの雰囲気を感じ取るためには、どんな気持ちで行事に向かえば良いか。修学旅行に向けて、学年全体で考えていきたいと思います。



1組 お別れ遠足 TDL 2月16日

1組担当 藤尾 司

2月16日(金)に、1組お別れ遠足で東京ディズニーランドへ行ってきました。生徒は数日前から遠足に行くことに心を躍らせ、当日も朝の集合時から笑顔いっぱいでした。ディズニーキャラクターの洋服を着てくる生徒がいたり、「ミッキーに会えるかな!?!」「〇〇に乗りたい!」など道中は賑やかにしていました。それでも、電車に乗ると話しをしないで静かにし、リュックも前に背負ったりと、メリハリをつけて公共マナーを守ることができていました。

園内では、3班に分かれて行動しました。事前学習では各班で、乗りたいアトラクションや昼食場所を相談して決めました。その相談の中で、「3年生が乗りたいものに乗ろう!」「そしたら、昼食は後輩が食べたいものにしよう!」など、お互いを思いやる姿が見受けられました。当日の園内はやや混雑していたものの、どの班も希望のアトラクションに乗って、昼食を食べ、お土産も購入して、「楽しすぎました!」と満足した様子でした。

今回のお別れ遠足では、「1組の生徒・先生と楽しい思い出を作る」「公共のルールやマナーを守る」「班で協力し協調性を身につける」ことを目標にしており、事前学習から当日を通して、どれも達成できたと思います。

また、普通なら楽しさのあまりに、気が緩んでしまいがちですが、3年生は班長として点呼や整列を率先して行ってくれ、その姿に「さすが3年生!」と感心させられました。3年生の卒業まで残りわずかですが、1・2年生は、このような3年生の姿から少しでも多くの事を学び、立派な先輩へと成長してほしいです。また、3年生は残りの中学校生活で、楽しい思い出を増やすとともに、4月からの高校生活へ向けた準備期間として、充実した日々を送ってほしいと思います。

